



施工説明書

無垢フローリング(ピュア他)

この度は天龍木材(株)の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

床材をきれいに仕上げ、最良の状態でご使用いただくため施工前に必ず「施工説明書」をお読みいただき正しく施工してください。

● 施工前のご注意

- 1.品質管理には万全を期しておりますが、万一不都合な品物ございましたら必ず施工前にお申し出ください。施工後の苦情・返品・交換には応じられない場合がございますのでご了承ください。
- 2.無垢フローリングは内装用ですので外装には使用しないで下さい。
- 3.無垢フローリングを根太に直接施工しないでください。根太上等に施工する場合は必ず12mm以上の合板を捨て貼りしてください。
- 4.商品を保管する場合は、水の掛かりやすい場所、湿気の多い場所、直射日光のあたる場所を避け、風通しのよい場所に保管してください。
- 5.無垢フローリングは天然木ですので1枚1枚すべて色柄が異なります。施工前に仮並べをして全体として色調のバランスをとってください。また、カスリや金筋等、天然木特有の模様が入る場合がありますのでご了承ください。

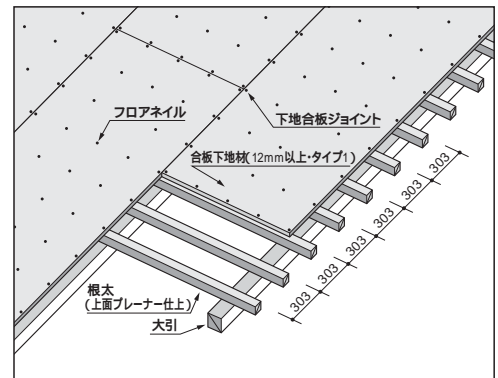
● 施工上のご注意

- 1.無垢フローリングの施工は糊・釘併用が基本です、必ずフロア用接着剤(一液ウレタン樹脂系接着剤)をご使用ください。また、ご使用の際には必ず接着剤の使用説明書をお読みいただき正しく使用してください。
- 2.無垢フローリングは天然木の無垢材を使用していますので湿度の吸収・発散を繰り返し若干の伸縮を示します。施工の際はこの点を十分に配慮してください。
- 3.床材はあまり詰めて貼らず余裕を持って貼るようにしてください。詰めて貼りすぎると突き上げの原因になります。
- 4.無垢フローリングは樹種によっては材料が硬く、釘が通りにくい場合があります。このような場合は決して無理な施工はせず、予め先穴を開けてから施工をしてください。
- 5.施工中に接着剤が表面についてしまった場合は直ちに拭き取ってください。一度硬化してしまうと除去できなくなります。

● 下地について

- 1.床下は換気口が設置され、風通しが良く乾燥していることを確認してください。床下の風通しが悪く、湿気が高くなると、反り・突上げ・腐れなどの原因となります。
- 2.大引きは90mm角以上、根太は45mm角以上のプレーナー仕上げした乾燥材で、ネジレのない平滑な材料を使用してください。
- 3.大引きは909mmピッチ以下、根太は303mmピッチ以下にしてください。
- 4.捨て貼り合板は12mm以上の十分に乾燥された構造用合板(JAS I 類以上)を使用し、縦の継ぎ目が根太の中央にくるようにレンガ張りで施工してください(図1)
- 5.合板と合板の間は、2~3mmあけ、段差の出ないようにしてください。
- 6.合板の固定は、フロア用接着剤と38mm以上のフロアネイルを併用してください。

図1



● 施工手順

- 1/下地検査
施工前には必ず施工可能か下地を検査してください。
 - 床下地がフローリングを施工しない状態で床として十分な強度を持っていること。
 - 合板の継手に目違いがないこと。
 - 床鳴り、踏み鳴りがないこと。
- 2/下地調整・清掃
 - 床面に異物が付着している場合は必ず取り除いてください。
 - 箒で大きなゴミを除去し、掃除機で小さなホコリまで除去します。
- 3/割付け
 - 貼り方向を必ず現場の責任者の確認を取って決定してください。
 - 貼り始めの部分と貼り納めの部分が同じ巾になるように割付けし、基準線を墨出します。
- 4/施工
 - 必ずフロア用接着剤(一液ウレタン樹脂系接着剤)と38mm以上のフロアネイルを併用してください。
 - 基準線に沿って製品を並べ貼り始めの部分の巾決めをして製品をカットします。
 - 接着剤は下地の釘打ち可能部分に約150mm~300mmピッチでフロアと直行するように、長尺部・短尺部の雄実の際まで塗布してください。また、フロア短尺部の接合個所にも必ず塗布し、左右どちらのフロアの下にも接着剤が入るようにしてください。(図2)
※サネ付近に接着剤が塗られていると目スキや突上げの防止になります。
 - 接着剤の塗布量は坪あたり300ml以上が目安です。
 - フロアネイルはフローリング1枚あたり長尺部で7本、短尺部では1本以上それぞれ打ち込んでください。
 - 釘頭は必ずボンチで沈めてください。(図2)
※釘頭が残っていると床鳴りや目スキ、突上げの原因になります。
 - フローリングは含水率の変化により多少の伸縮をします。実は強く叩き込みすぎないように名刺1枚分(0.3mm程度)の隙間を設けて貼り込んでください。また、壁まわりは巾木で隠れる程度の隙間をあけてください。
 - 施工後、製品の空箱、接着剤の空缶、その他作業で出たごみを片付けます。ホコリ、鋸クズ等は掃除機で除去してください。
- 5/完了チェック
 - 最終工程が完了したら以下の点をチェックしてください。
 - 貼り忘れはないか
 - 巾木、下枠との取り合いは良いか
 - 目違いはないか
 - キズはないか
 - 接着剤による汚れはないか
- 6/養生
 - 貼り込み完了後、12時間以内は立ち入り禁止とします。
 - 貼り込み完了後に作業する場合は、床をキズ付けたり、汚したりしないよう、ベニヤや養生シートで養生してください。
注)養生の際、養生テープは直接床に貼らないよう注意してください。市販の梱包用テープはもちろん木質床専用のものであっても時間が経過したりすると、表面にテープが残ったり、塗装面を破損する可能性があります。

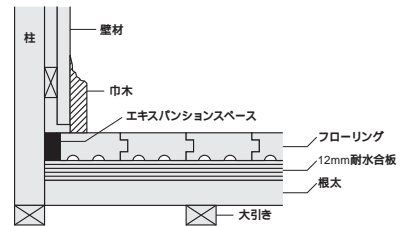
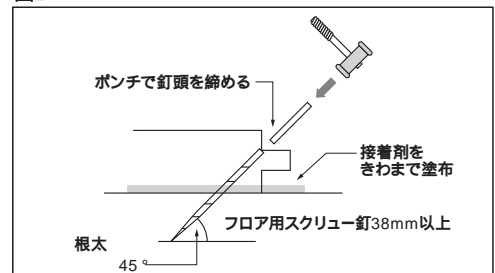


図2



●使用上のご注意

木質床材は天然の素材を使用しておりますので水分の吸収による伸び、水分の放出による縮みを繰り返します。また、鉄などと違って硬く重いものを乗せれば傷ついたり、多湿な場所では腐れや虫による食害が生じます。特に水分の吸放出による伸び縮みで起こる反り、隙間を少なくするために下記のことにご注意ください。

1. キャスター付きの椅子は、腰掛けのまま移動しないでください。又はカーペット等を敷くようにしてください。
2. ピアノやテレビ等の重量物を置く場合は、専用の受け用具や木片等を使用しキズがつかないようにしてください。
3. 水をこぼしたり濡れた場合は製品の染み、汚染の原因になります。直ちに乾いた布で乾拭きしてください。
4. 暖房器具や直射日光はカーペット及びカーテンで遮ってください。

●日常のお手入れ

1. 日常のお手入れは、モップや乾いた布で乾拭きしてください。
2. 砂やホコリ・ゴミは箒や掃除機で速やかに取除いてください。
3. 汚れのひどい場合は、硬く絞った雑巾で素早く拭いてください。
場合によっては少量の中性洗剤を水に入れ硬絞りした雑巾ですばやく拭き取るようにしてください。
4. 定期的に床用の樹脂系ワックスでワックス掛けをしてください。軽微なすり傷は目立たなくなります。
ただし、樹脂系のワックスは水分が多いため、一度に大量に使用すると床材をいためる恐れがあります。
必ず少量を重ね塗りするようにしてください。
注意:ワックスをご使用の際は、ワックスの梱包、容器に表示されている「取り扱い上の注意」をよく読んで使用するようにしてください。

その他ご不明な点がございましたら、当社または当社の営業担当者までお問合せください。



天龍木材株式会社

〒438-0207 静岡県磐田市宮本350
TEL0538-66-1125